

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2005

春号

VOL.20

平成17年4月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>
otoiawase@yumebutai.org

かわせみや

柳静かに

池深し

子規

国際会議開催件数
2003年
全国第4位に
(前年7位)

高野幸二郎・
前フィリピン大使が
新館長に就任

写真上 野池のカワセミ

写真下 猫柳とカワセミ

就任のごあいさつ

淡路夢舞台国際会議場

館 長 高野 幸二郎

本年4月に淡路夢舞台国際会議場館長に就任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。私自身は神戸出身であり、また、外務省勤務の間に兵庫インターナショナルセンター建替え計画に参画させて頂くなど、兵庫県とは強い関わりを持っていましたので、このたび兵庫・淡路に勤務できますことを大変嬉しく存じています。

国際会議場は「2000年淡路花博」と同時に開業し、設立5年を経過しました。その間、国内外の学会を中心に高い評価をいただくようになり、2003年の国際会議統計では国際会議の開催件数で全国第4位の地位を頂くまでになりました。

今後ともリゾート＆コンファレンスの趣旨のもと、皆様に愛される会議場になるよう、職員一同努力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げますようお願い申し上げます。

淡路夢舞台において知的交流がますます進み、淡路から世界に向けて情報発信がなされるよう微力ですが努力して参る所存ですので、皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

PROFILE

1964年 外務省入省
国際協力事業団総務部長、国際平和協力本部事務局長、サウディ・アラビア大使、日朝国交正常化のための本会談日本政府代表などを歴任
2002年～2004年フィリピン大使を務める



開催に寄せて

ISIR & JSAIR 2005

11-14 May, 2005

(第9回国際インターベンショナル・ラジオロジー／血管造影シンポジウム兼第34回日本血管造影・インターベンショナル・ラジオロジー学会総会)

2005年5月11日から14日の4日間、淡路夢舞台国際会議場において、上記学会を開催致します。インターベンショナル・ラジオロジー (IVR) とは、放射線診断技術を応用した治療の手法で、血管カテーテル、バルーンカテーテル、金属ステントなどの器具を用いて悪性腫瘍や出血、動脈閉塞性疾患あるいは気管、胆管、尿管などの管腔の狭窄・閉塞などを治療します。外科手術に比べて侵襲が少ないのが特徴で、近年著しく進歩した分野です。

日本血管造影・IVR学会では3年毎に国際シンポジウムを併催し、国際交流、情報交換を行っています。英語での討論は必ずしも十分に円滑に行われるわけではありませんので、今回は主会場に同時通訳を設定し、日本の学会と同じように討論ができるように致しました。また、第

会 長
大阪大学大学院医学系研究科
医用制御工学講座
画像応用治療分野 教授

中村 仁 信



23回日本Metallic Stents & Grafts 研究会と第10回肝動脈塞栓療法研究会も併催されます。予想以上に多くの一般演題の応募があり、プログラム編成には苦慮しましたが、これまでに増して実りある成果が期待されています。また、海外からの参加者には風光明媚な淡路島観光を楽しんでいただけるものと思っています。

2003年 国際会議開催件数 第4位に躍進!!



国際観光振興機構 (JNTO) が取りまとめた2003年国際会議統計で、淡路夢舞台国際会議場が開催件数49件の実績を残し、国際会議場の中で第4位になりました。2002年が39件で第7位でしたから大きな躍進です。ご利用頂きました関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

当館は2000年3月の淡路花博と同時に開業し、本年でちょうど5周年を迎えました。

その間、都市型の会議場とは一線を画した質の高い中規模の会議場を目指して参りましたが、大勢の皆様の高い評価をいただいたたまものと喜んでおります。

今後とも「リゾート＆コンファレンス」のコンセプトのもと質の高い会議環境を提供して参りますので、皆様のご愛顧をお願い申し上げます。

開催を終えて

第9回日本フードファクター (JSoFF) 学会総会・学術集会

6-7 Dec. 2004

季節はずれの台風が過ぎ去った2004年12月6日(月)7日(火)の両日、淡路夢舞台国際会議場において第9回日本フードファクター学会 (JSoFF: (Japanese Society for Food Factors) 学会総会・学術集会を開催しました。

JSoFFとは「機能性食品の科学と産業の新世界を拓く」を目標に、医学、農学、薬学、家政学などの分野で食品機能に関わる大学・企業などの研究者が集結し、化学、生物学、生化学やニュートリゲノミクスを背景に食品因子の生物機能研究成果を討論する学会です。また、学会会議で得られる情報を食品産業界へ活用するという実践的な目標も1995年に創設された時点から掲げています。

今回は予想を上回る150名の参加者となり、大変活気づいた大会になりました。シンポジウムでは淡路島特産タマネギに因んでその機能成分である含硫化合物に

関するシンポジウムが行われ、熱い討論が交わされました。また、この研究分野の発展が著しい韓国から3名の研究者を招聘し特別講演等を行いました。このため日韓親善の国際会議としての雰囲気も生じ、大学院生など若い研究者には良い刺激となりました。また、美しいロケーション、機能的な会議場、快適な宿泊施設、そしてスタッフの親切な対応に参加者達は皆大変満足しており、開催者の責務が果たせたと大変喜んでおります。



徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
教授

寺尾 純 二

International Workshop on Super-RENS, Plasmonics, and Surface Recording Science & Technology (ISPS2005) 超解像近接場構造、プラズモニクス、表面記録サイエンス&テクノロジーに関する国際ワークショップ (ISPS2005)

20-21 Jan. 2005

独立行政法人産業技術総合研究所では、研究部門毎にワークショップを開催しています。ISPS2005は、1998年より次世代の超高密度光記録技術開発のためのワークショップとしてスタートし、今回で7回目の開催となりました。

研究内容も毎年に充実し、現在ではスーパーレンズと呼ばれる実用化に迫る次世代光記録ディスクを始め、局在プラズモン光と呼ばれる特殊な光の応用分野開拓としての光ディスク研究、さらには原子間力顕微鏡等を用いた最先端の原子レベルでのデータ記録技術が主な検討テーマとなり、また今年度からポスターセッションも追加され、発表件数が前回の1.5倍にもなりました。

二つの異なる関連学会開催日程が重複するなど開催に不安もありましたが、多数の参加者 (内1/3が海外の大学、企業) があり、活発な討議が行われました。

幸い天候に恵まれ、すばらしい瀬戸内海の眺めと淡路島のおいしい料理も味わえることもできましたことを心より感謝いたしております。

淡路夢舞台国際会議場の皆様には、会議の準備から運営について大変お世話になりました。また、いつの日かISPS200Xを是非、淡路夢舞台国際会議場で開催させていただきます。



独立行政法人
産業技術総合研究所
近接場光応用工学研究センター
センター長

富 永 淳 二

日本ショウジョウバエ研究会 第7回研究集会

7-9 Jul. 2005

京都大学大学院
生命科学研究科 教授
第7回研究集会世話人

上 村 匡



日本ショウジョウバエ研究会第7回研究集会が、2005年7月7～9日に淡路夢舞台国際会議場にて開催されます。ショウジョウバエ研究集会は、二年に一度日本中からショウジョウバエを材料に様々なテーマで研究を行っている研究者が集まり、研究成果を発表し議論する場です。ショウジョウバエは生命科学研究における最先端モデル生物の一つとして世界中で盛んに用いられており、平成14年度から文部科学省が開始した「ナショナル・バイオリソース・プロジェクト」においても、重要な一翼を担っています。今までにショウジョウバエをモデルとした研究から、手足の形作りや発ガンの仕組みなど、ヒトを含む多くの生物で共通する遺伝子プログラムが発見されてきました。今回の研究集会においても、種の分化からヒトの神経活動に至るまで未解決の問題に挑戦している研究が多数報告される予定です。

国内においても全世界的にも、ショウジョウバエを用いた研究者や大学院生達は風通しの良いコミュニティーを形成し、和気あいあいとした中にも世界をリードする研究を発信しようとする気概に溢れています。是非皆様がこの研究集会に積極的にご参加頂きます様、お待ち申し上げます。

4月～8月開催予定の主な会議一覧

会 議 名	主なお問い合わせ先
4月 The 4th AWAJI CONFERENCE 幹細胞シンポジウム	大阪大学大学院工学研究科 大阪大学大学院医学系研究科
5月 ISIR & JSAIR 2005 第4回Siエビタキシとヘテロ構造に関する国際会議 Pan Pacific EMC Joint Meeting	大阪大学大学院医学系研究科 九州大学大学院システム情報科学研究院 東海大学電子情報学コミュニケーション工学 電波・光通信
6月 近畿母子生活支援施設研究大会 日本学術振興会マイクロビームアナリシス141部会 日本科学技術振興財団第10回領域会議	社会福祉法人 白鷺園母子生活支援施設 大阪電気通信大学工学研究科 日本科学技術振興財団
7月 第7回固定チームナーシング近畿地方会 特定領域「生命システム情報」班会議 ショウジョウバエ研究会第7回研究集会 第3回COE研究討論会 Kobe International School of Planetary Sciences 画像の認識と理解シンポジウム 第22回日本眼循環学会 ICDS (International Conference on Defects in Semiconductors)	兵庫県立尼崎病院 理化学研究所CDB発生ゲノミクス研究チーム 京都大学大学院生命科学研究科 神戸大学附属病院 神戸大学大学院自然科学研究科 大阪大学産業科学研究所 淀川キリスト教病院 大阪大学産業科学研究所
8月 スピテックIII アジア太平洋フォーラム淡路会議 特定領域 膜輸送ナノマシン国際会議 第6回癒しの環境研究会全国大会 6th Topical Workshop on Heterostructure Microelectronics (TWHM2005) 学生ボランティア国際大会 日本災害看護学会	大阪大学産業科学研究所 (財)兵庫県国際交流協会 大阪大学産業科学研究所 社会福祉法人平成記念会 徳島大学工学部電気電子工学科 産経新聞大阪本社営業本部 兵庫県立大学



世界から、日本から、快適アクセス

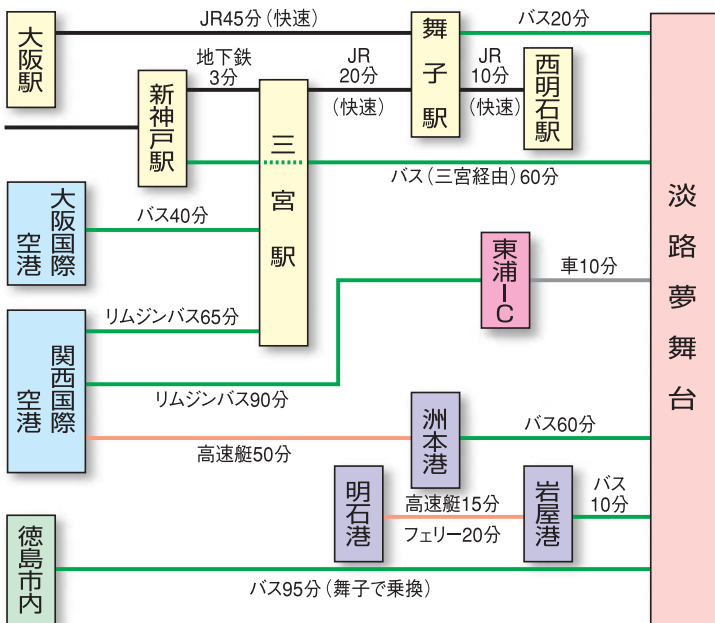
明石海峡大橋を經由し、車で大阪から60分、神戸から30分
(淡路I.C.、東浦I.C.から車で5分)

交通アクセス



公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
http://www.yumebutai.org



会議場の住居表示がわかります

当会議場があります津名郡東浦町が4月1日に周辺4町と合併して淡路市になりました。このため会議場の住居表示と郵便番号が下記のとおり変更になりました。

郵便番号 656-2306

所在地 兵庫県淡路市夢舞台1番地

ご利用料金(税込)

会 議 室 名 称		面積 (㎡)	利 用 料 金 (円)		
			9時～12時	13時～17時	9時～17時
メインホール		580	90,000	120,000	209,000
イベントホール		481	75,000	100,000	174,000
アンフィシアター		275	45,000	60,000	105,000
レセプション ホール	A	127	22,000	30,000	51,000
	B	258	44,000	58,000	101,000
会 議 室	311	179	15,000	20,000	35,000
	301	173	15,000	20,000	35,000
	405	91	8,000	11,000	18,000
茶 室	A	90	18,000	24,000	42,000
	B	10	3,000	3,000	5,000
合計(全館利用)			407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9~17時)から
ご用意しております。

ご利用にお得な制度

▶(財)兵庫県国際交流協会の国際会議開催助成金

●以下の要件を満たす国際会議に、500万円を限度として
開催総経費の10%以内を助成します。

- ①開催日程3日以上
- ②参加国は日本を含め5カ国以上
- ③国外参加者の比率が20%以上

●その他の国際会議には、200万円を限度に開催総経費の
5%以内を助成します。

※助成金には年度枠がありますので、枠を超えると交付できな
い場合があります。

※この他、一定の条件を満たした会議等について、無利息の貸
付金制度もあります。

▶(財)中内力コンベンション振興財団の助成金

兵庫県内で開催される国際・国内会議や、それに付随する展示
会・見本市への助成金の交付と開催準備金の貸付を行ってい
ます。上記、助成金・貸付金制度との併用可。

詳細は同財団へ。TEL 078-303-8111

▶「ウェスティンホテル淡路」ご利用時の コンファレンスレートについて

国際会議場での会議を伴う宿泊(15名様以上)にご利用いた
だけると同レートにより、「ウェスティンホテル淡路」の宿泊料が最
大で通常の50%を超える割引となります。

(祝祭日、特定日を除く日曜日から金曜日に適用)

編集後記

やわらかな春の陽差しに包まれて、心地よい鳥のさえずりと風のささ
きを聞きながら、やさしく微笑む可憐な花々を見ていると思わず顔もほ
ころんでくるこの季節が、また夢舞台に巡ってまいりました。皆様に支え
られて5回目の誕生日を迎えられましたことを心より感謝申し上げます。
さて、長い間AGENDAの表紙を飾り、皆様に大変ご好評いただきました山田脩二先生の「新淡路百景」シリーズは、2004年秋号をもって終
了いたしました。2005年新年号より、当館職員の松林真弘コンファレン
ス部次長が表紙写真を担当しております。淡路の自然の豊かな表情
を魅力たっぷりにお届けしてまいります。これからもご愛読賜れば幸いです。
(編集者記)